

別添 1

工事成績評定採点表(土木)

令和 4 年 6 月

仙台市財政局財政部検査課

# 工事成績評定考査項目別運用表(土木)

- 財政局 検査課 -

項番	書式類		内 容				ページ		備 考	
	書式類	考査項目	細別	工 種	評 定 者					
					監督員・主任監督員	総括監督員	検査員	ページ		
								( )は既済検査1・中間検査1 (( ))は既済2・中間2 ※2		
1	別記様式 第1	<b>工 事 成 績 調 書</b>		○監督員・主任監督員が契約に係る事項について当初P3(工事情報入力表)に入力 ○(監督員・主任監督員)、(総括監督員)、(検査員)が各自関連セルに入力。…… 具体的入力方法は下記に記載				1	※1	
2	別記様式 第2	細目別評定点採点表		○本シートは自動入力				2	注1総合評価技術提案等	
2-2	様式11-1(11-3)に添付する項目別評定点		○本シートは自動入力				2-2			
3	工事情報入力表		○監督員・主任監督員が契約に係る事項について入力				3			
4	書式類	考査項目	細別	工 種	監督員・主任監督員	総括監督員	検査員	ページ		
5	別紙-1①(土木)	1.施工体制	I.施工体制一般		★			4		
6	別紙-1①(土木)	1.施工体制	II.配置技術者		★			4		
	別紙-1②(土木)	2.施工状況	I.施工管理		★			5		
7	別紙-1②(土木)	2.施工状況	II.工程管理		★			5	注2週休2日モデル事業	
8	別紙-1③(土木)	2.施工状況	III.安全対策		★			6		
	別紙-1③(土木)	2.施工状況	IV.対外関係		★			6		
9	別紙-1④(土木)	3.出来形及び出来ばえ	I.出来形		★			7		
10	別紙-1④(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質		★			7		
	別紙-1⑤(土木)	5.創意工夫	I.創意工夫		★			8~9	注3ICT活用モデル工事	
11	別紙-2①(土木)	2.施工状況	II.工程管理			★		10		
12	別紙-2①(土木)	2.施工状況	III.安全対策			★		10		
	別紙-2②(土木)	4.工事特性	I.施工条件等への対応			★		11		
13	別紙-2③(土木)	6.社会性等	I.地域への貢献等			★		12		
	別紙-2④(土木)	7.法令遵守等 (総合評価包含)				★		13	注1総合評価技術提案等	
14	成績評定工種選択表及び結果表	3.出来形及び出来ばえ	II.品質			★		14	原則1工種が選択対象(複数工種で3工種選択可能)	
15		3.出来形及び出来ばえ	III.出来ばえ			★		15		
16	別紙-3①(土木)	2.施工状況	I.施工管理			★		16	(17)	((18))
	別紙-3②(土木)	3.出来形及び出来ばえ	I.出来形			★		19	(20)	((21))
17	別紙-3③(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	①コンクリート構造物工事			★	22		
18	別紙-3③(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	②土工事(切土、盛土、堤防等工事)			★	22		
	別紙-3④(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	③護岸・根固・水制工事			★	23		
19	別紙-3⑤(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	④鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)			★	24		
20	別紙-3⑥(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	⑤砂防構造物・地滑り防止工事(集水井工事を含む)			★	25		
	別紙-3⑦(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	⑥舗装工事			★	26		
21	別紙-3⑧(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	⑦法面工事			★	27		
22	別紙-3⑨(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	⑧基礎工事及び地盤改良工事			★	28		
	別紙-3⑩(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	⑨コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)			★	29		
23	別紙-3⑪(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	⑩塗装工事			★	30		
24	別紙-3⑪(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	⑪トンネル工事			★	30		
	別紙-3⑫(土木)	3.出来形及び出来ばえ	II.品質	⑫植栽工事			★	31		

25	別紙-3⑫(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑬ 造園工事		★	31			
26	別紙-3⑬(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑮ 下水道管路工事		★	32			
	別紙-3⑭(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑯ 下水道更生工事		★	32			
27	別紙-3⑮(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工		★	33			
28	別紙-3⑯(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑭ 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事		★	33			
	別紙-3⑰(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑲ 電線共同溝工事		★	34			
29	別紙-3⑱(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑳ 維持工事		★	35	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工)		
30	別紙-3⑲(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	21 修繕工事		★	35	修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)		
	別紙-3⑳(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑱ 機械設備工事		★	36			
31	別紙-3㉑(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	22 電気設備工事		★	36			
32	別紙-3㉒(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	23 シールド工事		★	37			
	別紙-3㉓(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	24 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事		★	38			
33	別紙-3㉔(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	①コンクリート構造物工事		★		(39)		
34	別紙-3㉕(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	②土工(切土、盛土、堤防等工事)		★		(39)		
	別紙-3-21(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	③護岸・根固・水制工事		★		(40)		
35	別紙-3-22(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	④鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)		★		(41)		
36	別紙-3-23(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑤砂防構造物・地滑り防止工事(集水井工事を含む)		★		(42)		
	別紙-3-24(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑥舗装工事		★		(43)		
37	別紙-3-25(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑦法面工事		★		(44)		
38	別紙-3-26(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑧基礎工事及び地盤改良工事		★		(45)		
	別紙-3-27(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑨コンクリート橋 上部工事(PC及びRCを対象)		★		(46)		
39	別紙-3-28(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑩塗装工事		★		(47)		
40	別紙-3-28(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑪トンネル工事		★		(47)		
	別紙-3-29(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑫植栽工事		★		(48)		
41	別紙-3-29(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑬造園工事		★		(48)		
42	別紙-3-30(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑮ 下水道管路工事		★		(49)		
	別紙-3-30(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑯ 下水道更生工事		★		(49)		
43	別紙-3-31(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工		★		(50)		
44	別紙-3-31(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑭ 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事		★		(50)		
	別紙-3-32(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑲ 電線共同溝工事		★		(51)		

45	別紙-3-33(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑳ 維持工事		★	(52)	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工)
46	別紙-3-33(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	21 修繕工事		★	(52)	修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)
	別紙-3-34(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑱ 機械設備工事		★	(53)	
47	別紙-3-34(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	22 電気設備工事		★	(53)	
48	別紙-3-35(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	23 シールド工事		★	(54)	
	別紙-3-36(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	24 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事		★	(55)	
49	別紙-3-37(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	①コンクリート構造物工事		★	((56))	
50	別紙-3-37(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	②土工事(切土、盛土、堤防等工事)		★	((56))	
	別紙-3-38(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	③ 護岸・根固・水制工事		★	((57))	
51	別紙-3-39(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	④ 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)		★	((58))	
52	別紙-3-40(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑤ 砂防構造物・地滑り防止工事(集水井工事を含む)		★	((59))	
	別紙-3-41(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑥ 舗装工事		★	((60))	
53	別紙-3-42(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑦ 法面工事		★	((61))	
54	別紙-3-43(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑧ 基礎工事及び地盤改良工事		★	((62))	
	別紙-3-44(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑨ コンクリート橋 上部工事(PC及びRCを対象)		★	((63))	
55	別紙-3-45(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑩ 塗装工事		★	((64))	
56	別紙-3-45(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑪ トンネル工事		★	((64))	
	別紙-3-46(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑫ 植栽工事		★	((65))	
57	別紙-3-46(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑬ 造園工事		★	((65))	
58	別紙-3-47(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑮ 下水道管路工事		★	((66))	
	別紙-3-47(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑯ 下水道更生工事		★	((66))	
59	別紙-3-48(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工事		★	((67))	
60	別紙-3-48(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑭ 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事		★	((67))	
	別紙-3-49(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑲ 電線共同溝工事		★	((68))	
61	別紙-3-50(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑳ 維持工事	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工)	★	((69))	
62	別紙-3-50(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	21 修繕工事	修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	★	((69))	
	別紙-3-51(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	⑱ 機械設備工事		★	((70))	
63	別紙-3-51(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	22 電気設備工事		★	((70))	

64	別紙-3-52(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	23 シールド工事		★			((71))	
	別紙-3-53(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	24 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事		★			((72))	
65	別紙-3-54(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	①コンクリート構造物工事・砂防構造物工事・海岸工事・トンネル工事		★	73			
66	別紙-3-54(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	②土工事		★	73			
	別紙-3-54(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	③切土工事		★	73			
67	別紙-3-54(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	④護岸・根固・水制工事		★	73			
68	別紙-3-54(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑤鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)		★	73			
	別紙-3-54(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑥砂防構造物工事及び地すべり防止工事		★	73			
69	別紙-3-55(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑦舗装工事		★	74			
70	別紙-3-55(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑧法面工事		★	74			
	別紙-3-55(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑨基礎工事及び地盤改良工事		★	74			
71	別紙-3-55(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑩コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)		★	74			
72	別紙-3-55(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑪塗装工事		★	74			
	別紙-3-55(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑫植栽工事		★	74			
73	別紙-3-56(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑬造園工事		★	75			
74	別紙-3-56(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑭-1 防護柵(網)工事		★	75			
	別紙-3-56(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑭-2 標識工事		★	75			
75	別紙-3-56(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑭-3 区画線等設置工事		★	75			
76	別紙-3-56(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑮下水道管路工事		★	75			
	別紙-3-56(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑯下水道更生工事		★	75			
77	別紙-3-57(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑰水路・側溝等(コンクリート二次製品)工		★	76			
78	別紙-3-57(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑱機械設備工事		★	76			
	別紙-3-57(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	21 電気設備工事		★	76			
79	別紙-3-57(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑳維持修繕工事	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工)	★	76		修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	
80	別紙-3-58(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	19 電線共同溝工事		★	77			
	別紙-3-58(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	22 シールド工事		★	77			
81	別紙-3-58(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	○ 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事		★	77			

82	別紙-3-59(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	①コンクリート構造物工事・砂防構造物工事・海岸工事・トンネル工事		★	(78)		
	別紙-3-59(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	②土工事		★	(78)		
83	別紙-3-59(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	③ 切土工事		★	(78)		
84	別紙-3-59(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	④ 護岸・根固・水制工事		★	(78)		
	別紙-3-59(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑤ 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)		★	(78)		
85	別紙-3-59(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑥ 砂防構造物工事及び地すべり防止工事		★	(78)		
86	別紙-3-60(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑦ 舗装工事		★	(79)		
	別紙-3-60(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑧ 法面工事		★	(79)		
87	別紙-3-60(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑨ 基礎工事及び地盤改良工事		★	(79)		
88	別紙-3-60(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑩ コンクリート橋 上部工事(PC及びRCを対象)		★	(79)		
	別紙-3-60(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑪ 塗装工事		★	(79)		
89	別紙-3-60(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑫ 植栽 工事		★	(79)		
90	別紙-3-61(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑬ 造園工事		★	(80)		
	別紙-3-61(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑭-1 防護柵(網)工事		★	(80)		
91	別紙-3-61(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑭-2 標識工事		★	(80)		
92	別紙-3-61(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑭-3 区画線等設置工事		★	(80)		
	別紙-3-61(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑮ 下水道管路工事		★	(80)		
93	別紙-3-61(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑯ 下水道更生工事		★	(80)		
94	別紙-3-62(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工		★	(81)		
	別紙-3-62(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑱ 機械設備工事		★	(81)		
95	別紙-3-62(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	21 電気設備工事		★	(81)		
96	別紙-3-62(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑳ 維持修繕工事	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工)	★	(81)	修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	
	別紙-3-63(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	19 電線共同溝工事		★	(82)		
97	別紙-3-63(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	22 シールド工事		★	(82)		
98	別紙-3-63(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	○ 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事		★	(82)		
	別紙-3-64(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	①コンクリート構造物工事・砂防構造物工事・海岸工事・		★		((83))	
99	別紙-3-64(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	②土工事		★		((83))	

100	別紙-3-64(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	③ 切土工事		★			((83))
	別紙-3-64(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	④ 護岸・根固・水制工事		★			((83))
101	別紙-3-64(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑤ 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)		★			((83))
102	別紙-3-64(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑥ 砂防構造物工事及び地すべり防止工事		★			((83))
	別紙-3-65(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑦ 舗装工事		★			((84))
103	別紙-3-65(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑧ 法面工事		★			((84))
104	別紙-3-65(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑨ 基礎工事及び地盤改良工事		★			((84))
	別紙-3-65(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑩ コンクリート橋 上部工事(PC及びRCを対象)		★			((84))
105	別紙-3-65(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑪ 塗装工事		★			((84))
106	別紙-3-65(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑫ 植栽 工事		★			((84))
	別紙-3-66(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑬ 造園工事		★			((85))
107	別紙-3-66(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑭-1 防護柵(網)工事		★			((85))
108	別紙-3-66(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑭-2 標識工事		★			((85))
	別紙-3-66(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑭-3 区画線等設置工事		★			((85))
109	別紙-3-66(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑮ 下水道管路工事		★			((85))
110	別紙-3-66(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑯ 下水道更生工事		★			((85))
	別紙-3-67(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工		★			((86))
111	別紙-3-67(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑱ 機械設備工事		★			((86))
112	別紙-3-67(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	21 電気設備工事		★			((86))
	別紙-3-67(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	⑳ 維持修繕工事	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工)	★	修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)		((86))
113	別紙-3-68(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	19 電線共同溝工事		★			((87))
114	別紙-3-68(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	22 シールド工事		★			((87))
	別紙-3-68(土木)	3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	○ 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事		★			((87))
115	「施工プロセス」のチェックリスト				★	★		88～91	

※1 別記様式第1 工事成績調書の監督員・主任監督員の評定点は、該当入力シートすべてを入力しないと表示されない。総括監督員、検査員の評定点も同様。また、評定点合計は各評定者がすべてを入力しないと表示されない。

※2 既済・中間検査の入力を行う場合は(既済・中間1)、(既済・中間2)の順で入力すること。

評定は、別記様式第1 工事成績調書、工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表「別紙-1～別紙-3」により、監督、検査、その他必要な事項について、工事ごと、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。なお、「施工プロセス」のチェックリストを活用して評定を行うこと。また、「5.創意工夫」「6.社会性等」は、受注者から提出された実施状況に関する書類を活用して評定を行うこと。

## 入力方法

### 別記様式第1 工事成績調書

①検査員に係わる項目を除き、工事情報入力表に、工種、課・公所名、契約番号、契約日、工事名、工事場所、請負代金額、請負者氏名、配置技術者氏名、工期、完成日、評定者氏名、検査年月日、所見を入力。（所見は特筆すべきことがあった場合の外、必要に応じて入力すること。）

②別記様式第1 工事成績調書の採点の数値、計算は、工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表「別紙-1～別紙-3」及び「成績評定工種選択表及び結果表」のシートを入力すれば、自動的に計算し表示される。（採用された評点に【 】が付く。）

### 別紙-1～別紙-3の入力

①各評価項目は、評価洩れを防ぐため、原則、すべて入力するものとする。（入力時のメッセージ及び入力選択リストや、注意メモのコメントに従うこと。）

②適正と考えられる評価対象項目のチェック欄  を選定する（該当するチェックボックスにマウスをクリックして「レ」を入れる）。（チェック欄  は、削除する項目もあるので留意する。）

③その他（理由など桃色のセル）には日本語で必要事項を記入する。その他のセルは保護されているため入力できない。

## 留意事項

### 注1 総合評価技術提案等

総合評価一般競争入札において契約を締結した工事においては、受注者から提出された「技術提案等」の内容について履行検証を行い、別記様式第2の選択覧を選択し、その達成率等に応じて別紙-2④（土木）法令遵守等により評定点から減点を行う。（履行検証が必要なものは、配置技術者の変更、登録基幹技術者の配置、簡易型Ⅱ型の場合は簡易な施工計画の内容）

### 注2 週休2日モデル事業

仙台市土木工事週休2日モデル工事実施要領に基づく提出資料から休日等の取得の実施が確認できた場合は、別紙-1②（土木）の工程管理の項目における「休日の確保を行っている」及び、「その他」に「本工事は、週休2日モデル工事であり、累計休工達成率が100%以上であることから、週休2日の休工を実施した。」と記載し評価を行う。

### 注3 ICT活用モデル工事

仙台市ICT活用モデル工事試行要領（案）に基づくモデル工事を実施した場合は、別紙-1⑤（土木）の創意工夫の項目における「情報化施工技術（一般化推進技術、実用化検討技術及び確認段階技術に限る）を活用した工事」において評価する。なお、ICTを全面的に活用しなかった工事の成績評定については、本項目では加点対象とせず、併せて、モデル工事の発注方式毎に次の各号を標準として採点を行うものとする。

(1)発注者指定型 受注者の責によりICTの全面的な採用が出来ない場合は、契約違反として措置の内容に応じて減点。

(2)施工者希望型 減点は行わない。

## 備考

< 担当課評価終了後 >

監督職員が押印した工事成績調書を検査課に提出するとともに、電子データを契約番号で判別できるようにファイル名（エXXXXXXXX）を付けて庁内グループウェアのメール機能を使用して検査課に送付すること。



## 工 事 成 績 調 書

Ver. 2022(R04). 06. 15

工 種		課又は公所名:																																
契約番号	契約日	請負代金額(当初) 円					配置技術者	現場代理人		工期	着手																							
工事名		請負代金額(最終) 円						主任技術者			完成																							
工事場所		受注者氏名						監理技術者			完成日																							
		監督員・主任監督員					総括監督員					検査員(既済1・中間1)					検査員(既済2・中間2)					検査員(完成)												
		職・氏名 (監督員) 印					検査年月日					検査年月日					検査年月日																	
		職・氏名 (主任監督員) 印					職氏名					職氏名					職氏名																	
考查項目	細別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	i. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10																												
	ii. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																												
2. 施工状況	i. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15
	ii. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15																					
	iii. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15																					
	iv. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																												
3. 出来形及び出来ばえ	i. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20	+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20	+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20
	ii. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25
	iii. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	i. 施工条件等への対応 ※2	最大20点																																
5. 創意工夫	i. 創意工夫(最大7点) ※3	+7.0 ~ 0																																
6. 社会性等	i. 地域への貢献等						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0																							
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		点					点					± 点					± 点																	
評定点(65点±加減点合計) ※1		① 点					② 点					③ 点					④ 点																	
評定点計		既済部分(中間)検査があった場合: (① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.2+④ 点×0.2) = 点 点 但し、③(既済、中間)が2回以上の場合は平均値 既済部分(中間)検査がなかった場合: (① 点×0.4+② 点×0.2+④ 点×0.4) = 点																																
7. 法令遵守等	※7	0.0 点																																
評定点合計		点 ○評定点計( 点) - 法令遵守・総合評価落札方式による減点( 0.0 点) = 点																																
8. 総合評価技術提案 技術提案履行確認 ※9		履行 不履行 【対象外】																																
所 見		(監督員・主任監督員)										(総括監督員)										(検査員)												

※1 65点 + 1~3の評定(65点±加減点合計)+4. ~6. の評定(加点合計) = 評定点

各評定(①~④)は小数第一位まで記入する。

※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価に際しては主任監督員からの報告を受けて総括監督員が評価するものとする。

※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。

※4 4, 5, 6. は加点評価のみとする。また、法令遵守は、減点評価のみとする。

※5 所見は特筆すべきことがあった場合の外、必要に応じて記載すること。

※6 各考查項目ごとの採点は、考查項目別運用表によるものとし、検査員の評価に先立ち、監督員・主任監督員・総括監督員が行う。

※7 法令遵守の評価は、総括監督員が行う。

※8 評定合計は、四捨五入により整数とする。

※9 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は、『不履行』を選択する。(別記様式第2で入力)

課 供 覧	長	課 長	係 長	検 査 課 決 裁	課 長

細目別評定点採点表

課又は公所名

作成

工事名
-----

考查項目	細 別	①監督員・主任監督員	②総括監督員	④検査員(既済1・中間1)	⑤検査員(既済2・中間2)	⑤検査員(完成)	細目別評定点	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	( ) × 0.4 + 2.9 = 点					点 3.3 点	#VALUE!
	II. 配置技術者	( ) × 0.4 + 2.9 = 点					点 4.1 点	#VALUE!
2. 施工状況	I. 施工管理	( ) × 0.4 + 2.9 = 点		( ) × 0.4 + 6.5 = 点	( ) × 0.4 + 6.5 = 点	( ) × 0.4 + 6.5 = 点	#### 点 13.0 点	#VALUE!
	II. 工程管理	( ) × 0.4 + 2.9 = 点	( ) × 0.2 + 3.2 = 点				#### 点 8.1 点	#VALUE!
	III. 安全対策	( ) × 0.4 + 2.9 = 点	( ) × 0.2 + 3.3 = 点				#### 点 8.8 点	#VALUE!
	IV. 対外関係	( ) × 0.4 + 2.9 = 点					点 3.7 点	#VALUE!
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	( ) × 0.4 + 2.8 = 点		( ) × 0.4 + 6.5 = 点	( ) × 0.4 + 6.5 = 点	( ) × 0.4 + 6.5 = 点	#### 点 14.9 点	#VALUE!
	II. 品質	( ) × 0.4 + 2.9 = 点		( ) × 0.4 + 6.5 = 点	( ) × 0.4 + 6.5 = 点	( ) × 0.4 + 6.5 = 点	#### 点 17.4 点	#VALUE!
	III. 出来ばえ			( ) × 0.4 + 6.5 = 点	( ) × 0.4 + 6.5 = 点	( FALSE ) × 0.4 + 6.5 = 6.5 点	6.5 点 8.5 点	#VALUE!
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		( 0.0 ) × 0.2 + 3.3 = 3.3 点				3.3 点 7.3 点	#VALUE!
5. 創意工夫	I. 創意工夫	( 0.0 ) × 0.4 + 2.9 = 2.9 点					2.9 点 5.7 点	#VALUE!
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		( ) × 0.2 + 3.2 = 点				点 5.2 点	#VALUE!
7. 法令遵守等			( 0.0 ) × 1.0 = 0.0 点				0.0 点 点	#VALUE!
評定点計ー法令遵守・総合評価落札方式による減点							#### 点	
8. 総合評価 技術提案等	技術提案等履行確認	履行 不履行 【対象外】					評定点合計	#### 点 (P2)
								( ) (P1)

- ※ (①+②+⑤) = 細目別評価点
- ※ 得点割合は、評定点の合計に対する細目別評定点の割合を百分率で示す。
- ※ 総合評価技術提案等は、技術提案等の履行が確認できない場合は「不履行」を選択

選択覧  履行  
 不履行  
 対象外

# 項 目 別 評 定 点

工事名：

考 査 項 目	細 別	細目別評定点／満点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	点 3.3点
	II. 配置技術者	点 4.1点
2. 施工状況	I. 施工管理	#VALUE! 点 13.0点
	II. 工程管理	#VALUE! 点 8.1点
	III. 安全対策	#VALUE! 点 8.8点
	IV. 対外関係	点 3.7点
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	#VALUE! 点 14.9点
	II. 品質	#VALUE! 点 17.4点
	III. 出来ばえ	6.5 点 8.5点
4. 工事特性 (加点のみ)	I. 施工条件等への対応	3.3 点 7.3点
5. 創意工夫 (加点のみ)	I. 創意工夫	2.9 点 5.7点
6. 社会性等 (加点のみ)	I. 地域への貢献等	点 5.2点
7. 法令遵守等 (減点のみ)	工事事務等による減点	0.0 点
	総合評価落札方式による減点	0.0 点
評定点計(1~6) - 7(法令遵守・総合評価落札方式による減点)		#VALUE! 点 100点

評定点合計	点
-------	---

## 工事情報入力表

① 作成年月日  ←入力例 2022/4/1

② 契約番号  ←入力例 220510999

③ 契約日  ←入力例 2022/4/1

④ 工事名

↓工種を選択してください。

⑤ 工 種

↓工事請負契約書のとおりに記載すること。

⑥ 工事場所

⑦ 請負金額  
(当初)  円

⑧ 請負金額  
(最終)  円

会社名及び代表者名を入力してください。

↓入力例 ○□△建設株式会社 代表取締役 ○○ ○○

⑨ 請負者氏名

⑩ 現場代理人

⑪ 主任技術者

⑫ 監理技術者

⑬ 工期(着手)  ←入力例 2022/5/15

⑭ 工期(完成)  ←入力例 2022/5/15

⑮ 完成日  ←入力例 2022/5/15

↓係名まで正確に記入してください。記入例「○局(区)○部(▲支所)○課○係」

⑯ 課又は公所名

↓職            ↓氏名

⑰ 監督員

⑱ 主任監督員

⑲ 総括監督員

⑳ 検査員(完成)

21 検査員(中1・既済1)

22 検査員(中2・既済2)

検査員は 別記様式第1に 直接入力
-------------------



考查項目別運用表

(監督員、主任監督員)

考查項目	細別	a			b			c			d			e		
		適切である			ほぼ適切である			他の評価に該当しない			やや不適切である			不適切である		
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項がない。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質証明書及び写真等を保管している。 <input type="checkbox"/> 工事打合せ簿を、事前協議に基づき、過不足無く整理している。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内容を記載									<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。		
		<p>↑ 削除する項目にレ点</p> <p>●判断基準                      評価値が90%以上.....a                      評価値が80%以上90%未満.....b                      評価値が80%未満.....c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                          ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                          ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                          ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。                     </div>														
	II. 工程管理	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した計画工程表を作成している。 <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内容を記載									<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。			<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。		
		<p>↑ 削除する項目にレ点</p> <p>●判断基準                      評価値が90%以上.....a                      評価値が80%以上90%未満.....b                      評価値が80%未満.....c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                          ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                          ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                          ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。                     </div>														

考查項目別運用表

(監督員、主任監督員)

考查項目	細別	a			b			c			d			e		
		適切である			ほぼ適切である			他の評価に該当しない			やや不適切である			不適切である		
2. 施工状況	III. 安全対策	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項がない。 <input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を1回/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 内容を記載									<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。		
	<p>削除する項目にレ点</p> <p>↑</p>	<p>●判断基準</p> 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c									<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>					
	IV. 対外関係	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生がない。 <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> その他 内容を記載									<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。			<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。		
	<p>削除する項目にレ点</p> <p>↑</p>	<p>●判断基準</p> 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c									<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>					

考査項目別運用表

(監督員、主任監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規定値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
		① 出来形の評定は工事全般を通じて行うものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものとする。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。	① 品質の評定は工事全般を通じて行うものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格をいう。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保の為の管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で品質管理を行うものとする。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。			



考查項目別運用表

(監督員、主任監督員)

考查項目	細別	工夫事項
5. 創意工夫	I. 創意工夫	<p><b>【施工】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 運搬車両、施工機械等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工、仮栈橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 情報化施工技術(一般化推進技術、実用化検討技術及び確認段階技術に限る)を活用した工事(使用原則化工事を除く) <b>※本項目は2点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。</li> </ul> <p><b>【新技術活用】</b></p> <p>「新技術活用」においては、以下の5項目により、複数の技術の評価を可能とするが、<b>最大3点の加点とする。</b></p> <p>以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表を確認した上で評価する。</p> <p>ただし、加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数: )NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 <b>※本項目は3点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数: )NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 <b>※本項目は2点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数: )NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と同程度である。 <b>※本項目は1点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数: )NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 <b>※本項目は2点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数: )NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 <b>※本項目は1点の加点とする。</b></li> </ul> <p><b>※ここで「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「活用促進技術」、「推奨技術」、「準推奨技術」、「評価促進技術」等をいう。</b></p> <p><b>※複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大3点の加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も最大3点の加点とする。</b></p> <p><b>【品質】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 配筋、溶接作業等に関する工夫。</li> </ul> <p><b>【安全衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 <b>※本項目は2点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)</li> <li><input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫</li> <li><input type="checkbox"/> 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。</li> </ul>

考查項目別運用表

(監督員、主任監督員)

考查項目	細別	工夫事項	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	<p>【その他】</p> <input type="checkbox"/> その他 理由:内容を記載 <input type="checkbox"/> その他 理由:内容を記載 <input type="checkbox"/> その他 理由:内容を記載 <input type="checkbox"/> その他 理由:内容を記載 <input type="checkbox"/> その他 理由:内容を記載 <input type="checkbox"/> その他 理由:内容を記載 <input type="checkbox"/> その他 理由:内容を記載	
	記述評価	<p>評 点 <u> 0 </u> 点</p>	【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載(新技術活用を評価した場合NETIS登録番号と新技術名称を記載)
	内容を詳細記述)		

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 評価は各項目においてレ点が付されれば1、2、3点で評価し、最大7点の加点評価とする。
- ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
- ※4. 上記の考查項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。

考查項目別運用表

(総括監督員)

考查項目	細別	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
2. 施工状況	II. 工程管理	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</li> <li><input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</li> <li><input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、夜間工事の回避等を行い、工事による地域への影響を軽減させた。</li> <li><input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。</li> <li><input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事施行箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって完成させた。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> <p>内容を記載</p> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行う。</p> <p>入力欄 → <input type="checkbox"/> a 評価  <input type="checkbox"/> b 評価  <input type="checkbox"/> c 評価  <input type="checkbox"/> d 評価  <input type="checkbox"/> e 評価</p>				
	III. 安全対策	<p>a 優れている</p> <p>b やや優れている</p> <p>c 他の評価に該当しない</p> <p>d やや劣っている</p> <p>e 劣っている</p> <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 災害防止協議会での活動に積極的に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> <p>内容を記載</p> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行う。</p> <p>入力欄 → <input type="checkbox"/> a 評価  <input type="checkbox"/> b 評価  <input type="checkbox"/> c 評価  <input type="checkbox"/> d 評価  <input type="checkbox"/> e 評価</p>				

考査項目別運用表

(総括監督員)

考査項目	細別	対 応 事 項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応	<input type="checkbox"/> I 構造物の特殊性への対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 <input type="checkbox"/> 3. その他 内容を記載 ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば4点の加点とする。	(1)について 切土の土工量:20万m <sup>3</sup> 以上、盛土の土工量:15万m <sup>3</sup> 以上、護岸・築堤の平均高さ:10m以上、トンネル(ターム)の直径:8m以上、ダム用水門の設計水深25m以上、樋門又は樋管の内空断面積:15m <sup>2</sup> 以上、揚排水機場の吐出管径:2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長:25m以上、堰又は水門の径間数:3径間以上、堰又は水門の扉体面積:50m <sup>2</sup> /門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ:20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積:100m <sup>2</sup> 以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積:300m <sup>2</sup> 以上、海岸堤防・護岸・突堤又は離岸堤の水深:10m以上、地滑り防止工:幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量:100万m <sup>3</sup> 以上、流路工の計画高水流量:500m <sup>3</sup> 以上、砂防ダムの堤高:15m以上、ダムの堤高:150m以上、転流トンネルの流下能力:400m <sup>3</sup> /s以上、橋梁下部工の高さ:30m以上、橋梁上部工の最大支間長:100m以上 (2)について ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3)について ・その他、構造物固有の難しさへの対応が必要な工事 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
		<input type="checkbox"/> II. 作業環境、社会条件等への対応 <input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 8. 事故や災害発生直後等の緊急的な対応が特に必要な工事 <input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 <input type="checkbox"/> 10. その他 内容を記載 ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば6点の加点とする。	(4)について ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・産廃などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5)について ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に厳しい制限を受けた工事。 (6)について ・市街地での夜間工事。 ・DID地区での工事。 (7)について ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標準の設置撤去を日々行った工事。 (8)について ・事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事で、24時間対応の施工等により早期の完成が求められる工事 (9)について ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (10)について ・施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要な工事。
		<input type="checkbox"/> III. 厳しい自然・地盤環境への対応 <input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 13. 被災箇所の措置や急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 15. 維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事 <input type="checkbox"/> 16. その他 内容を記載 ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば4点の加点とする。	(11)について ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。 (12)について ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13)について ・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事 ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事 (14)について ・イヌリン等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事 (15)について ・維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事 (16)について ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事
		<input type="checkbox"/> IV. 長期工事における安全確保への対応 <input type="checkbox"/> 17. 12ヶ月を超える工期で、事故が無く完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 <input type="checkbox"/> 18. その他 ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば6点の加点とする。	
	評価	評 点 <u>        </u> 点	

※1. 工事特性は、最大20点の加点とする。

※2. 評価にあたっては、監督員・主任監督員の意見も参考に評価する。

考查項目別運用表

(総括監督員)

考查項目	細別	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</li> <li><input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</li> <li><input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</li> <li><input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントに積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</li> <li><input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> <p>内容を記載</p> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c 評価を行う。</p>				
	入力欄 →	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> a 評価</li> <li><input type="checkbox"/> a' 評価</li> <li><input type="checkbox"/> b 評価</li> <li><input type="checkbox"/> b' 評価</li> <li><input type="checkbox"/> c 評価</li> </ul>				

考查項目別運用表

(総括監督員)

考查項目	法令遵守等の該当項目一覧表																																			
7. 法令遵守等	措置内容	点数	<p>※ 「1.」～「8.」で重複する項目がある場合は、上位の点数を採用する。</p> <p>※ 総合評価履行結果で減点する場合は「-1」から「-10」の範囲とし、表-2に入力する。</p> <p>ただし、総合評価結果確認を除く「1.」～「8.」の合計は、最大-20点とする。</p> <p>「8.その他」入力欄 <span style="float:right;">総合評価結果確認</span></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px;"></div> </div> <p>法令遵守等点数</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px; margin-top: 5px;"></div>																																	
	<input type="checkbox"/>	1. 指名停止3ヶ月以上		-20																																
	<input type="checkbox"/>	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満		-15																																
	<input type="checkbox"/>	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満		-13																																
	<input type="checkbox"/>	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満		-10																																
	<input type="checkbox"/>	5. 文書注意		-8																																
	<input type="checkbox"/>	6. 口頭注意		-5																																
	<input type="checkbox"/>	7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合		-3																																
	<input type="checkbox"/>	8. その他 内容を記載		-																																
	<input checked="" type="checkbox"/>	9. 該当項目なし		0																																
評定点		0																																		
<p>① 本考查項目(7. 法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従業員及び当該工事にあたって下請負人として契約し、それを履行するために当該工事現場に従事する者に限定する。</p> <p>④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、表-2 総合評価結果確認 により減点する。</p> <p><b>【上記で評価する場合の適用事例】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。</li> <li>承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</li> <li>使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li> <li>産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li>当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。</li> <li>一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</li> <li>入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</li> <li>労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</li> <li>下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</li> <li>過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。</li> <li>受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記載されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせ工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆災害事故を起こした。</li> <li>受注者が社会保険等未加入建設業者の下請負人と契約を締結した。(措置内容については、指名停止等の区分による)</li> </ol> <p><b>表2 総合評価結果確認</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:5%;"></th> <th style="width:85%;">総合評価競争入札制度による工事評価項目の達成率 当初契約時と工事完成時の評価点の割合とする。(標準型・簡易型に適用)</th> <th style="width:10%;">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の10%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-10</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の10%以上20%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-9</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の20%以上30%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-8</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の30%以上40%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-7</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の40%以上50%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-6</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の50%以上60%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-5</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の60%以上70%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-4</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の70%以上80%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-3</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の80%以上90%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-2</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>提案の90%以上100%未満の達成率</td> <td style="text-align:center;">-1</td> </tr> </tbody> </table>					総合評価競争入札制度による工事評価項目の達成率 当初契約時と工事完成時の評価点の割合とする。(標準型・簡易型に適用)	点数	<input type="checkbox"/>	提案の10%未満の達成率	-10	<input type="checkbox"/>	提案の10%以上20%未満の達成率	-9	<input type="checkbox"/>	提案の20%以上30%未満の達成率	-8	<input type="checkbox"/>	提案の30%以上40%未満の達成率	-7	<input type="checkbox"/>	提案の40%以上50%未満の達成率	-6	<input type="checkbox"/>	提案の50%以上60%未満の達成率	-5	<input type="checkbox"/>	提案の60%以上70%未満の達成率	-4	<input type="checkbox"/>	提案の70%以上80%未満の達成率	-3	<input type="checkbox"/>	提案の80%以上90%未満の達成率	-2	<input type="checkbox"/>	提案の90%以上100%未満の達成率	-1
	総合評価競争入札制度による工事評価項目の達成率 当初契約時と工事完成時の評価点の割合とする。(標準型・簡易型に適用)	点数																																		
<input type="checkbox"/>	提案の10%未満の達成率	-10																																		
<input type="checkbox"/>	提案の10%以上20%未満の達成率	-9																																		
<input type="checkbox"/>	提案の20%以上30%未満の達成率	-8																																		
<input type="checkbox"/>	提案の30%以上40%未満の達成率	-7																																		
<input type="checkbox"/>	提案の40%以上50%未満の達成率	-6																																		
<input type="checkbox"/>	提案の50%以上60%未満の達成率	-5																																		
<input type="checkbox"/>	提案の60%以上70%未満の達成率	-4																																		
<input type="checkbox"/>	提案の70%以上80%未満の達成率	-3																																		
<input type="checkbox"/>	提案の80%以上90%未満の達成率	-2																																		
<input type="checkbox"/>	提案の90%以上100%未満の達成率	-1																																		

### 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 成績評定工種選択表及び結果表

該当する工種を次の事項に留意しながら選択してください。

留意事項

- ※1: 全体の概ね7割以上を占める工種がある場合は、原則その1工種が選択の対象となります。
- ※2: 複数工種選択する必要がある場合は、3工種まで選択が可能です。その場合、代表的な工種の「主たる工種」覧にチェックしてください。
- ※3: 「主たる工種」が選択された場合、「3. 出来形及び出来ばえ II. 品質」におけるばらつきは、「主たる工種」の判断基準が適用されます。
- ※4: 「主たる工種」が選択されない場合は、選択された複数工種の中の最も低い判断基準が適用されます。
- ※5: 上記により難く、検査員の判断基準を適用することが望ましい場合は、下覧「ばらつき入力欄」に入力願います。
- ※6: ①～23のいずれか1工種を選択した場合は、24は選択できません。

<b>検査員 選択</b>	主たる工種	選択されていません	
	選択工種		
	ばらつき判定		

品質

主たる 選択 工種 工種	工 種
<input type="checkbox"/>	① コンクリート構造物
<input type="checkbox"/>	② 土工事
<input type="checkbox"/>	③ 護岸・根固・水制工事
<input type="checkbox"/>	④ 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準じる。堰水門等工場製作を含む)
<input type="checkbox"/>	⑤ 砂防構造物工事及び地滑り防止工事(集水井工事を含む)
<input type="checkbox"/>	⑥ 舗装工事
<input type="checkbox"/>	⑦ 法面工事
<input type="checkbox"/>	⑧ 基礎工事及び地盤改良工事
<input type="checkbox"/>	⑨ コンクリート橋上部工事
<input type="checkbox"/>	⑩ 塗装工事
<input type="checkbox"/>	⑪ トンネル工事
<input type="checkbox"/>	⑫ 植栽工事
<input type="checkbox"/>	⑬ 造園工事
<input type="checkbox"/>	⑭ 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事
<input type="checkbox"/>	⑮ 下水道管路工事
<input type="checkbox"/>	⑯ 下水道更生工事
<input type="checkbox"/>	⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工事
<input type="checkbox"/>	⑱ 機械設備工事
<input type="checkbox"/>	⑲ 電線共同溝工事
<input type="checkbox"/>	⑳ 維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)
<input type="checkbox"/>	21 修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)
<input type="checkbox"/>	22 電気設備工事
<input type="checkbox"/>	23 シールド工事
<input type="checkbox"/>	24 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併施工

※⑩機械設備工事、22電気設備工事については、その他の土木工種に付帯して施工される場合にのみ選択できます。単独で発注された機械設備工事、電気設備工事は、「仙台市工事成績評定要領」別添2「工事成績評定採点表(営繕)」により評定願います。

品質

◎検査員 自らが、ばらつきの判定を行う場合は、下の該当箇所にチェックしてください

- ばらつきが50%以下と判断できる。
- ばらつきが80%以下と判断できる。
- ばらつきが80%を超えると判断できる。
- ばらつきによる判断は不可能である。

**検査員 評定内容**

(以下の評定内容については、完成検査を実施し、評定した場合についてのみ、表示される。)

評価対象項目(1)

評価項目(2)

適合率

ばらつき

判定

### 3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ 成績評定工種選択表及び結果表

該当する工種を次の事項に留意しながら選択してください。

留意事項

- ※1 前頁の「Ⅱ. 品質」とは、構成が異なっておりますので、改めて選択する必要があります。
- ※2 全体の概ね7割以上を占める工種がある場合は、原則その1工種が選択の対象となります。
- ※3 複数工種選択する必要がある場合は、3工種まで選択が可能です。この場合、選択した工種全体の適合率により、評価することになります。
- ※4 複数工種選択した場合の評価基準は下表のとおりです。
- ※5 ①～22 のいずれか1工種を選択した場合は、23 は選択できません。

検査員	選択工種		
-----	------	--	--

出来ばえ

- ① コンクリート構造物、砂防構造物、トンネル工事
- ② 土工事(盛土・築堤工事等)
- ③ 切土工事
- ④ 護岸・根固・水制工事
- ⑤ 鋼橋工事
- ⑥ 砂防構造物工事及び地すべり防止工事
- ⑦ 舗装工事
- ⑧ 法面工事
- ⑨ 基礎工事 (地盤改良等を含む)
- ⑩ コンクリート橋上部工事
- ⑪ 塗装工事(工場塗装除く)
- ⑫ 植栽工事
- ⑬ 造園工事
- ⑭ 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事
- ⑮ 下水道管路工事
- ⑯ 下水道更生工事
- ⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工事
- ⑱ 機械設備工事
- ⑲ 電線共同溝工事
- ⑳ 維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)
- ㉑ 電気設備工事
- ㉒ シールド工事
- ㉓ 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併施工

※⑱機械設備工事、㉑電気設備工事については、その他の土木工種に付帯して施工される場合にのみ選択できます。単独で発注された機械設備工事、電気設備工事は、「仙台市工事成績評定要領」別添2「工事成績評定採点表(営繕)」により評定願います。

出来ばえ (以下の評定内容については、完成検査を実施し、評定した場合についてのみ、表示される。)

検査員 評定内容

- i 評価対象項目数
- ii 該当項目数
- iii 適合率

判定

0
---

評価基準

- i 1項目のみ選定の場合は  
別紙3-54～により算定(i・ii・iii適用外)
- ii 複数項目選定の場合は下記により算定
  - 適合率80%以上……………a
  - 適合率60%以上80%未満………b
  - 適合率40%以上60%未満………c
  - 適合率40%未満……………d



考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件及び計画内容に重要な変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更は除く)は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請けに対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、ISO9001又は品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事関係書類を事前協議に基づき過不足なく作成していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内の管理基準の設定、管理方法が工種毎に明確であり、その内容に基づき管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> <p style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">内容を記載</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a                  評価値が80%以上90%未満.....b                  評価値が80%未満.....c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>			<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
	↑ 削除する項目にレ点					

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規値を概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上する。	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規値を概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上該当する。	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規値を概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上該当する。	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規値を概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上該当する。	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われてお測定値が規格値を満足し a ~ b' に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理が出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真(監督職員が臨場した箇所は除く)で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工程について、監督職員と協議の上管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>内容を記載</p> <p>●ばらつき程度(該当する項目ひとつにレ点)</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない。)</p> <p>※ ばらつき判断基準は別紙-4参照</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div>							

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及 出来ばえ	① コンクリート 構造物工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。  <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)  <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設時に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他 理由: ↑ 内容を記載																																	
II. 品質	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ↑ 削除する項目にレ点	●ばらつき程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																												
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
② 土工事 (切土、盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ↑ 削除する項目にレ点	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付けを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: ↑ 内容を記載																																	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ↑ 削除する項目にレ点	●ばらつき程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																												
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及出来ばえ	③ 護岸・根固・水制工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがないように行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/> 内容を記載																																					
	削除する項目にシ点	<p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																					
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は e 評価とする。                 </div>																																					
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>						ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																				
90%以上	a	a'	b	b																																			
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
60%未満	b'	c	c	c																																			

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及出来ばえ	④ 鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準じる。堰水門等工場製作を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【工場製作関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を適切に管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料の空き缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</li> <li>その他 理由:</li> </ul> <p>↑ 内容を記載</p> <p>削除する項目にレ点</p> <p>【架設関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ボルトの締め付け確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架空用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場塗装部ケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。</li> <li>その他 理由:</li> </ul> <p>↑ 内容を記載</p> <p>削除する項目にレ点</p> <p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。</li> </ul>																																		
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及 出来ばえ	⑤ 砂防構造物 及び 地滑り防止工事 (集水井工事を 含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示 を行い改善された。	<input type="checkbox"/>																									
II. 品質		●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレーターの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質を、適切に管理していることを確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 理由: ↑ 内容を記載																																
	削除する項目にレ点	【砂防構造物に適用】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーの施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 理由: ↑ 内容を記載																																
	削除する項目にレ点	【地滑り対策工事(抑止杭・集水井戸工事含む)】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 理由: ↑ 内容を記載																																
	削除する項目にレ点	●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。                 </div>																																
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
評 価 値	90%以上	a	a'	b																														
	75%以上90%未満	a'	b	b'																														
	60%以上75%未満	b	b'	c																														
	60%未満	b'	c	c																														
		注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																

調査項目別運用表

(検査員)

調査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及出来ばえ	⑥ 舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締め固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載																																			
	削除する項目にシ点	<p>【アスファルト舗装工関係】</p> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載																																			
	削除する項目にシ点	<p>【コンクリート舗装工関係】</p> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを数均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載																																			
	削除する項目にシ点	<p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																			
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(%)=当該項目数( )/評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及 出来ばえ	⑦ 法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>																									
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起らないよう締固めを十分行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないよう、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシ点</p> <p><input type="checkbox"/> 【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】</p> <p><input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシ点</p> <p><input type="checkbox"/> 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 金網が破損を生じさせないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないように跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシ点</p> <p><input type="checkbox"/> 【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するよう実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないように跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシ点</p> <p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点)</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。</p>																																
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>																																
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b	c	c	c																														
		注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																



考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及出来ばえ	⑥ 基礎工事及び地盤改良工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒・場所打、深礎等)】</p> <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既成杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートを組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/> 内容を記載																																			
	↑	削除する項目にシ点																																			
		<p>【地盤改良関係】</p> <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/> 内容を記載																																			
	↑	削除する項目にシ点																																			
		<p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には c 評価とする。                 </div>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及出来ばえ	⑨ コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
II. 品質	<input type="checkbox"/> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。  <input type="checkbox"/> コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び曇中コンクリート等を含む)  <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質を、適切に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着していないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/> 内容を記載																																					
	↑ 削除する項目にシ点	<input type="checkbox"/> ●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。                 </div>																																				
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																				



考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及 出来ばえ  II. 品質	⑫ 植栽工事  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ↑ 削除する項目にレ点	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余刺枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据え付けていることが確認できる。 その他 理由： 内容を記載				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合 b、c 評価とする。																													
		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。				●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
⑬ 造園工事	削除する項目にレ点	a	a'	b	b'	c	d	e																											
	削除する項目にレ点	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書との適切性確認ができ証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製品の品質及び形状が設計図書との適切性確認ができ証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書等との適切性確認ができ証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され良好な施工が伺える。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、活着管理が適切に行われている。 その他 理由： 内容を記載				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合 b、c 評価とする。																													
		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。				●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															



考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及出来ばえ II. 品質	① 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工事  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ↑ 削除する項目にシ点	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 製品の種類、形状寸法、強度は設計図書等のとおりである。 <input type="checkbox"/> 製品に有害なひび割れ、損傷等の欠点はない。 <input type="checkbox"/> 床堀仕上がり面は不陸がなく、また、湧水、滞水処理がしっかりと成されている。 <input type="checkbox"/> 埋め戻し土の転圧を入念に行っている。 <input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=当該項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。																													
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c				
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
3. 出来形及出来ばえ II. 品質	⑭ 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ↑ 削除する項目にシ点	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標識設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所において地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線を消去した場合、表示材(塗料)のみの除去となり、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=当該項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。																													
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c				
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及 出来ばえ	⑱ 電線共同溝工 事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： 内容を記載								
	削除する項目にレ点	<p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。								

① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。  
 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c 評価とする。

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及 出来ばえ  II. 品質	⑩ 維持工事 (清掃工、除草工 付属工、除雪、 応急処理等)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<ばらつき判断基準は別紙-4参照>					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	評価項目を追加した場合はレ点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</li> </ul>								
		<input type="checkbox"/>		内容を記載						
		<input type="checkbox"/>		内容を記載						
		<input type="checkbox"/>		内容を記載						
		<input type="checkbox"/>		内容を記載						
		<input type="checkbox"/>		内容を記載						
				●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点)						
				<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。						
				<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。						
				<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。						
				<input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。						
				注 記載の4項目を必須の対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。						
	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
21 修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋防 止等)		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<ばらつき判断基準は別紙-4参照>					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	評価項目を追加した場合はレ点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</li> </ul>								
		<input type="checkbox"/>		内容を記載						
		<input type="checkbox"/>		内容を記載						
		<input type="checkbox"/>		内容を記載						
		<input type="checkbox"/>		内容を記載						
				●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点)						
				<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。						
				<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。						
				<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。						
				<input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。						
				注 記載の4項目を必須の対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。						





考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	23 シールド工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<ばらつき判断基準は別紙-4参照> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> シールド機械の製作に当たっては、製作図及び諸機能等の詳細図及び仕様並びに応力計算書を監督職員に提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧気を併用する場合あらかじめ路線付近の井戸、ボーリング孔等の状態を調査し必要な処置を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削量が所定の量を維持しているか管理していることが確認できる。シールド掘進作業等がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> シールド掘進中、シールドの蛇行及び回転の傾向を観測しながら施工していた。 <input type="checkbox"/> セグメントの継ぎ手部にシール材を施しているか確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込め注入結果の記録が整理され、裏込め施工の状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2次覆工コンクリート打設に先立って、セグメントのボルト締め直し及び清掃等を行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 内容を記載					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	削除する項目にシ点	●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は e 評価とする。	

考查項目別運用表

(検査員)

3. 出来形及び出来ばえ	24 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事	<b>「A」</b>	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない			
		<input type="checkbox"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照						<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
II. 品質		<b>「B」</b>	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 削除する項目にレ点 ↓							
		●判断基準 「A」 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ex) 浚渫工、取壊し工 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		「B」 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。						
		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。								

	ばらつきで判断可能			ばらつきで
	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

考查項目別運用表

※「成績評定工程選択表及び結果表」の、判定入力欄に入力したデータは、この帳票には反映されません。

全体評価(選択した工程全体の評価)		a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
考查項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	① コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	② 土工事 (盛土・築堤工事等)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	③ 切土工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	④ 護岸・根固・水制工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	⑤ 鋼橋工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	⑥ 地すべり防止工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	



検査項目別運用表

検査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	⑬ 造園工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 施設構造物の肌、通り等仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 施設構造物の収まりが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 遊具等の作動が安全でかつ良好に作動する。</li> <li><input type="checkbox"/> 園路等の舗装の平坦性が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な景観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当5項目以上・・・a</li> <li>該当4項目・・・b</li> <li>該当3項目・・・c</li> <li>該当2項目以下・・・d</li> </ul>	
	⑭-1 防護柵工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 端部処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当5項目以上・・・a</li> <li>該当4項目・・・b</li> <li>該当3項目・・・c</li> <li>該当2項目以下・・・d</li> </ul>	
	⑭-2 標識工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当4項目以上・・・a</li> <li>該当3項目・・・b</li> <li>該当2項目・・・c</li> <li>該当1項目以下・・・d</li> </ul>	
	⑭-3 区画線工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。</li> <li><input type="checkbox"/> 視認性が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 接着状態が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当4項目以上・・・a</li> <li>該当3項目・・・b</li> <li>該当2項目・・・c</li> <li>該当1項目以下・・・d</li> </ul>	
	⑮ 下水道管路工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 沈下がなく舗装の平坦性がよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</li> <li><input type="checkbox"/> 漏れない。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。(管路及びマンホールの内部・本復旧の仕上がり等)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当3項目以上・・・a</li> <li>該当2項目・・・b</li> <li>該当1項目・・・c</li> <li>該当項目なし・・・d</li> </ul>	
	⑯ 下水道更生工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 管体内面の仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 管体内面の通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工監理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当3項目以上・・・a</li> <li>該当2項目・・・b</li> <li>該当1項目・・・c</li> <li>該当項目なし・・・d</li> </ul>	

検査項目別運用表

検査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全般的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	⑱ 機械設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	21 電気設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	⑳ 維持修繕工事 維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工) 修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止)	●評価対象項目 <input checked="" type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。 <input checked="" type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	

検査項目別運用表

検査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	⑱ 電線共同溝工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されて <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	22 シールド工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	24 上記以外の工事又は合併工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
		※該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。			



「施工プロセス」のチェックリスト（1／4）

契約番号：

1. 工事名：  
 2. 工期： 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日  
 3. 工事場所：  
 4. 施工業者：

・ 監督員 ・ 主任監督員 ・ 総括監督員  
 (実施確認者を○で囲む)  
 ・ 担当課名：  
 ・ 現場代理人：  
 ・ 監理技術者：  
 ・ 主任技術者：

- ① 「施工プロセス」チェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督員等が確認する。
- ② チェック欄では、( )に書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであれば□にレマークを記入し、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況等を記入する。  
 なお、必要に応じてチェック時期を追加するものとする。
- ③ その年度ごとの運用通知により施工体制点検対象工事となっているものは、その要領で実施する。その際、要領で実施する確認項目については、備考欄に「別途要領による」と記入する。

審査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期 (指示事項)			備考 (指示事項及びその是正状況等)		
				着手時	施 工 中	完成時			
1 施工体制一般	I	○契約工程表	・契約締結の14日以内に、契約工程表が提出された。 (契約後、変更後)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		
		○工事カルテ	・事前に監督員の確認を受け、契約締結後の10日以内に登録機関に申請した。 (契約後、変更後、完成時)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		工事行またはCORINSにより確認 登録日 年 月 日
		○品質証明	・品質証明員の資格(身分及び経歴)が適正である。また、品質証明員に関する資料を書面で提出した。 (契約後、変更後)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		
			・工事途中及び検査時の事前に品質確認を行い、その結果を所定の様式により提出した。 (検査の前等)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		
			・品質証明は、出来高、品質及び写真管理等、工事全般にわたり適切(数量も含む)に実施した。 (品質証明実施時)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		
		○建設業退職金共済制度等	・掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以内に提出した。 (契約後、増額変更後)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		
			・「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。 (施工時1回程度)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		
			・労災保険関係の項目を現場の見やすい場所に掲示している。 (施工時1回程度)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		
			・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。 (施工時適宜)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		
		○請負代金内訳書	・契約締結後14日以内に、所定の様式で提出した。 (契約後、変更後)	( ) □	( ) □	( ) □	( ) □		

「施工プロセス」のチェックリスト（2／4）

審査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期（指示事項）			備考 (指示事項及びその是正状況等)	
				着手時	施 工 中	完成時		
1 施工体制	I 施工体制一般	○施工体制台帳・ 施工体系図	・施工体制台帳を現場に備え付け、かつ、同一のものを提出した。 (施工時の当初、変更時)	( )	( )	( )	下請負人通知書、台帳と合致。施工体制台帳の提出の確認日 当初 年 月 日 1回変更 年 月 日 2回変更 年 月 日 3回変更 年 月 日 ○回変更 年 月 日 一次下請負金総額、 円 一次下請業者数 社 再下請業者数 社	
			・施工体制台帳に下請契約書(写)及び再下請負通知書を添付している。 (施工時の当初、変更時)	( )	( )	( )		
			・施工体制台帳及び添付書類の「健康保険等加入状況」に加入又は適用除外であることを記載している。 (施工時の当初、変更時)	( )	( )	( )		
			・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。 (施工時の当初、変更時)	( )	( )	( )		施工体系図の提出の確認日 当初 年 月 日 1回変更 年 月 日 2回変更 年 月 日 3回変更 年 月 日 ○回変更 年 月 日
			・施工体系図に記載のない業者が作業していない。 (施工時 1回/月程度)	( )	( )	( )		
			・施工体系図に記載されている主任技術者及び施工計画書に記載されている技術者が本人である。 (施工時の当初、変更時)	( )	( )	( )		
					○建設業許可標識	・建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、監理技術者を正しく記載している。 (施工時1回程度)		( )
	II 配置技術者 / 現場代理人・ 監理技術者・ 主任技術者	○現場代理人	・現場代理人は、現場に常駐している。 (施工時1回/月程度)	( )	( )	( )		
			・現場代理人は、監督員との連絡調整及び対応を書面で行っている。 (施工時適宜)	( )	( )	( )		
		○専門技術者の配置	・専門技術者を専任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	( )	( )	( )	( )	
		○作業主任者の選任	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	( )	( )	( )	( )	
		○監理技術者 (主任技術者) の専任制	・資格者証の内容を確認した。 (着手前)	( )				
※当確認項目の4 チェック目、5 チェック目については、 特例監理技術者の指導により、 監理技術者補佐が適正に 実施した場合も評価 するものとする			・配置予定技術者、通知による監理技術者 施工体制台帳に記載された監理技術者と 監理技術者証に記載された技術者及び本人 が同一であった。(監理技術者補佐を配置 する場合は、監理技術者補佐についても 同様の確認をする) (着手前)	( )				
・監理技術者(監理技術者補佐を配置する 場合は監理技術者補佐)が現場に常駐し ていた。不在の場合は適切な施工ができる 体制を確保していた。 (施工時 1回/月程度)	( )		( )	( )	( )			
・施工計画や工事に係る行程、技術的事 項を把握し、主体的に係わっていた。 (施工時、打合せ時)	( )		( )	( )				
	・施工に先立ち、創意工夫又は提案をも って工事を進めている。 (施工時適宜)	( )	( )	( )				

「施工プロセス」のチェックリスト（3／4）

調査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期（指示事項）			備考 (指示事項及びその是正状況等)	
				着手時	施 工 中	完成時		
1 施工体制	II 配置技術者 ／	○現場技術者	・現場技術者との対応が適切である。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
		○下請負者の把握	・下請負者が仙台市の入札参加資格者名簿の登録業者である場合には、指名停止期間中でない。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
2 施工状況	I 施工管理	○設計図書の照査等	・契約約款第18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行っている。 (着手前、施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
			・現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。 (着手前、施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
		○施工計画書	・施工(変更含む)に先立ち、提出し、所定の項目が記載されている。 (着手前、変更時)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
			・記載内容と現場施工方法が一致している。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
			・記載内容(作業手順書等)と現場施工体制が一致している。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
			・記載内容が、設計図書・現場条件等を反映している。 (着手前、変更時)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
		○施工管理 ・工事材料管理	・工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理している。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
			・出来形、品質管理	・品質管理確保のための対策など施工に関する工夫を書面で確認できる。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
		・日常の出来形、品質管理が書面にて確認できる。 (施工時適宜)		( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
		・現場環境改善等	・特記仕様書等に定められた事項や独自の取り組み又、地域等により評価されるものがある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
			○検査(確認を含む)及び立会い等の調整	・監督員の立会にあたっては、あらかじめ立会願を提出している。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
		・段階確認の確認時期が適切である。 (施工時適宜)		( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
		○工事の着手	・契約着手日後、30日以内に工事着手を確認した。 (着手時)	( ) <input type="checkbox"/>				
		○支給品及び貸与品	・受領予定14日前までに、品名、数量、品質、規格又は性能を記した要求書を提出した。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
○建設副産物及び建設廃棄物	・請負者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督員に提示した。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>				
	・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>				
○指定建設機械類の確認	・指定建設機械(排出ガス対策型・低騒音型・低振動型建設機械)を使用している。 (施工時 1回程度)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>				

「施工プロセス」のチェックリスト（４／４）

調査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期（指示事項）			備考 (指示事項及びその是正状況等)
				着手時	施 工 中	完成時	
2 施工状況	II 工程管理	○工程管理	・フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・現場条件変更への対応、地元調整を積極的に行い、その結果を書類で提出した。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・作業員の休日の確保を行った記録が整理されている。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
	III 安全対策	○安全活動	・災害防止協議会等を設置し、活動記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・店社パトロールを実施し、記録がある。 (施工時 1回/月程度)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・安全・訓練等を実施し、記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・新規入場者教育を実施し、記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・過積載防止に取り組んでいる記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・使用機械、車輛等の点検整備等が管理され、記録がある。 (施工時 1回/月程度)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・重機操作で、誘導員配置や重機と人との行動範囲の分離措置がなされた点検記録等がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理の記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
			・足場や支保工の組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等により実施され、記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	
・保安施設等の整理・設置・管理が的確であり、記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>				
	○安全パトロールの指摘事項の処理	・各種安全パトロールでの指摘事項や是正事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告した記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
IV 対外関係	○関係機関等	・関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
		・地元住民等との施工上必要な交渉、工事の施工に関する苦情対応を適切に行い、記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		
		・隣接工事又は施工上密接に関連する工事の請負業者と相互に協力を行っている記録がある。 (施工時適宜)	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>	( ) <input type="checkbox"/>		